

企画展

東京大空襲 80年

— 新たな記録を探し続けて —

空襲で焼けた旧国技館と焼跡のがれき 撮影：財団法人日本写真公社 所蔵・提供：東京大空襲・戦災資料センター

令和7年

2月15日(土) ~ 5月25日(日)

会場：3階展示室
時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)・第4火曜日
入館料：個人100円・団体(20名以上)1人80円

*中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び介助の方は無料

展示期間中、関連企画としてギャラリートーク&平和コンサート、上映会&講演会を開催します。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

令和7年は夏季(6月~9月)にも東京空襲の企画展を開催する予定です。

すみだ郷土文化資料館

東京都墨田区向島2-3-5
都営浅草線：本所吾妻橋駅から徒歩8分
TEL 03(5619)7034 FAX 03(3625)3431

すみだ
郷土文化
資料館
SUMIDA
HERITAGE
MUSEUM

すみだ
郷土文化資料館
ホームページ



東京大空襲 80年 —新たな記録を探し続けて—

まもなく1945（昭和20）年3月10日の東京大空襲から80年となります。また、当区は、4月、5月も空襲被害を受け、区全体では約半分、本所地域は95%ほどが焼失し、人命及び財産に大きな被害が生まれました。しかし、その実相は今なお分かっていません。

当館も開館からの25年、多くの体験者やご遺族のご協力をいただきながら、東京空襲や戦争を企画の一つの柱として展示を続けてきました。いち早く実施した空襲体験画の収集、空襲死者名簿の研究、戦災孤児の展示、近年では公文書から見る空襲記録など、体験者の証言や体験記を土台に、様々な切り口で追ろうとしてきました。

今回も、新たな記録を各所に求め、調査・研究した成果をご紹介します。区内にある工藤写真館を開いた工藤哲朗氏は、両国橋兩岸地域の空襲の被害状況を撮影していました。空襲前に避難所とされた小学校には、地下室があったという証言を裏付ける、地下室建設の公文書が見つかり、当初から「市民防護」のために作られたことが分かりました。新たに見つかった空襲犠牲者の遺骨名簿は、以前当館学芸員とNHK記者が発見した『戦災者個別 遺骨霊名簿』の後継名簿ですが、記載を比較すると、それだけではないことが見えてきました。

今後は、世界や未来を見据えながら、教科書にも載る歴史的な出来事を、事実の重さと共にどのように伝えていくかがますます問われていくことになります。本展示がその一助となれば幸いです。

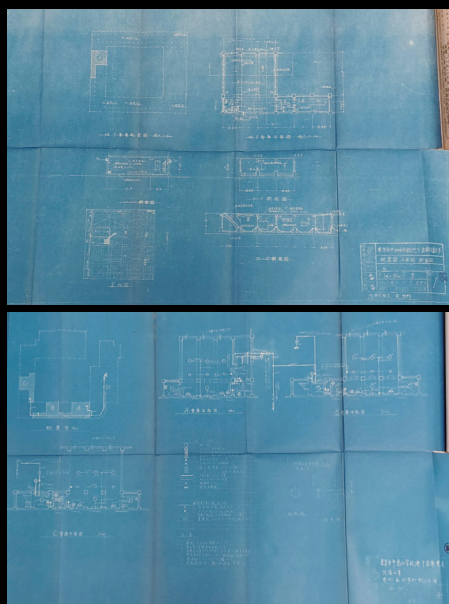


空襲で焼けた旧国技館の相撲茶屋と工藤写真館の焼跡 撮影：工藤哲朗 所蔵・提供：工藤写真館

案内図および交通機関



- 都営浅草線「本所吾妻橋」駅下車、徒歩8分
- 東武線「とうきょうスカイツリー」駅下車、徒歩7分
- 都営バス「言問橋」停留所下車、徒歩2分
(草39:金町駅～浅草寿町
業10:新橋～とうきょうスカイツリー駅
上26:亀戸駅～上野公園)
- 都営バス「本所吾妻橋」停留所下車、徒歩8分
(都08:錦糸町駅～日暮里駅
門33:豊海水産埠頭～亀戸駅
上23:平井駅～上野松坂屋)



上：「東京市中和小学校地下倉庫工事」図面
下：「東京市牛島小学校地下倉庫電気工事」図面
所蔵：東京都公文書館



「壊滅する扇橋国民学校—出入りに殺到する人々」画：石田恭子

すみだ郷土文化資料館

〒131-0033 東京都墨田区向島 2-3-5
TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431